

# 大阪民衆史研究会報

2026年3月号  
第33巻第3号  
(通巻364号)

発行 大阪民衆史研究会 (代表 林 耕二)

E-mail: osaka.minshushi@gmail.com (オーサカ ドット ミンシューシ)

## 例会のお知らせ

### ◇3月例会

日時 3月21日(土) 13:30 開場 14:00 開会

会場 大阪府教育会館3階蘭の間

報告 外山禎彦さん「私の学童疎開体験記—大阪市内から岸和田市牛滝へ」

外山さんは、1944年秋から45年の敗戦の頃まで、住吉区東粉浜国民学校4年生の時、岸和田市牛滝で学童集団疎開を体験し、この体験を日記に書き留めた。学童集団疎開の日々を体験者本人が語る。

### ◇4月例会 府庁周辺をめぐるフィールドワーク 案内は林ほか数名

日時 4月13日(月) 午後12時45分府庁正面集合

行程 12:45 府庁正面集合→府庁内「正庁の間」→「知事公邸」→

大阪府警(大阪憲兵隊本部跡)→大阪城内城南射撃場跡→衛戍監獄跡

→第4師団司令部跡(アメリカ兵捕虜の軍律裁判の部屋) 5時頃解散予定。

内容 府庁本館「正庁の間」は、大正時代のモダニズム建築の様式が復元された部屋。知事公邸(大阪府公館)は、大正時代に建てられ歴代知事の公邸だったが、橋下徹元知事が解体を主張。今、維新府政のもと解体が検討されている。府警本部南東部にあった大阪憲兵隊本部は、1956年に解体され府警庁舎が建てられた。衛戍(えいじゅ)監獄跡は大阪城内にある陸軍の監獄跡地、反戦川柳の鶴彬が収容された。現在、「ミライザ大阪城」として商業利用されている陸軍第4師団司令部跡は1931年にドイツ風の建築様式で建てられた陸軍の師団司令部跡。捕虜となったB29搭乗員のネルソン少尉とオーガナス軍曹は、ここで軍律裁判を受け、即日和泉市福瀬の戦闘射撃場に送られ処刑された(本誌参照)。 参加費 会員400円、非会員500円

## 新入会員の紹介

織田省二さん(奈良市) \*現在の会員数は100名